

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.140号> 2022年 11月1日 発行

## ごあいさつ



刈谷市議会議員

秋の深まりと共に吹き溜る枯葉の小山、明るくなった梢に陽光が燦々と注ぎます。旅心を誘うチラシに全国旅行支援を活用しコロナ禍の鬱憤を晴らすのも一興です。さてイタリアに続き イギリスでも俄かな新首相誕生と、隣国中国では共産党総書記が慣例を破る3期目続行を果たす等 世界の政権運営の在り方は激動の様相を呈しています。ウクライナ侵攻やコロナ禍が招いた経済の混乱は皮肉にも今や世界が協調し合うことの大切さを物語るようです。

折しも今月6日からエジプトで開催される COP27 (国連気候変動枠組条約締約国会議) ロシアの暴挙による天然ガス等エネルギーの締め付けを一つの転機とし参加国の協力が 再生可能エネルギーへの転換に向け、研究開発運用を加速する原動力となる事を切望します。

ところで今、トヨタ紡織は月の起潮力を利用しレタスやワサビ等の促成栽培の屋内実証に挑戦しています。無機質から有機質へ、日本の食が世界に羽ばたきます。

刈谷市は物価高支援策として、既に水道基本料免除・乳児のおむつ券交付等生活支援事業を実施しています。今後も生活に寄り添う施策に尽力して参ります。



## 【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com

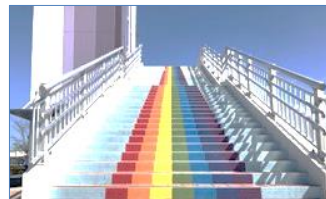
## 歳時記

11月 3日 (木・祝) 文化の日	厳しい季節を前にしたひとときの小春日和、お粧したちびっこ紳士淑女登場。
7日 (月) 立冬	医療の乏しい昔、子どもの死亡率は高く“7歳までは神のうち(子)”と言われた程、無事成長することは親の祈りでした。
11日 (金) 鮭の日	今も変わらぬ親心、健やかな一日を☆
15日 (火) 七五三	
22日 (火) 小雪	
23日 (水・祝) 勤労感謝の日	

# 伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



紺碧の空を仰ぎ真っ直ぐ伸びる虹色の階段。まるで上り切った空の中央に絵画の消失点があるかのように、美しく整然と集まる色彩…さて、ここはどこでしょう？



10/1発行の<No.139>の答えは、寿町の県立刈谷高校の正門。1919年設立百余年の歴史史を誇り 校訓“質実剛健”は今も健在。英国名門“イートンに学べ”初代校長の理念は脈々と続く。

## “投資の歴史”への招待☆ (Chapter1)

コロナ禍と同様に今年幾度となく押し寄せる値上げの波…10月には最多となる 6,700品目もの食料品が値上げされ、家庭や企業を直撃しています。ウクライナ侵攻や異常気象他様々な原因があるにせよ私共は対峙しなければなりません。

賃上げが停滞する今、金融庁は預貯金重視の家計の個人資産を含め“貯蓄から投資へ”のスローガンの下 リスクを伴う投資へ振り分ける施策を打ち出しました。リスク無く安心な預貯金資産よりも、リスクマネーである投資の方が良いのか？

14世紀後半、イタリアの諸都市では 大きなチャンス秘めたビジネスとして海運業が行われました。航海術も航路も乏しい時代、安全は保障されず 失敗して大損をする確率も高く、船の調達や維持・船員雇用等巨大な経費の代わりに 成功時のリターンも大きいため、商人達は費用捻出へと新しい仕組みを考え出します。

それが出資。船が無事戻ると商人やそのプロジェクトの関係者は、成功を期待してお金を出し合った人達と利益を分配します。こうして大きな事業も多くの出資者から多額の資金を調達でき 失敗のリスクも分散できることに。その後16世紀には大航海時代を迎え、新天地を求めた航海は莫大な利益で大繁栄を極めます。

## 11月の行事予定

11月 2日 (水) 刈谷市総合式典
7日 (月) 永井県議グループ研修視察
11日 (金) 12月議会説明会
14日 (月) 永井県議グループ定例会
30日 (水) 12月議会本会議 (～12月16日閉会)

“まじめにコツコツ、  
即行動”  
頑張ります!!



